

別記様式第7号(Ⅰの第7関係)

産地収益力向上支援事業に関する事業評価票																				
都道府 県名	市町 村名	事業実施 主体名	対象作物・畜 産物名	事業 実施 初年度	成果目標の 具体的な内容	成果目標の達成状況												具体的な取組 内容	事業内容 (工種、施設 区分、構造、規格、 能力等)	地方農政局長等の意見
						基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目 (当初目標年)	6年目 令和元年	7年目 (2回目目標年)	8年目 令和3年	9年目 (3回目目標年)	目標値	達成率			
						平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年					
宮城県	大崎 市 美里 町 涌谷 町	新みやぎ農 業協同組合 (みどりの 統括営農セ ンター扱い)	米	平成26 年度	有機農業により生産 される農産物の産出 額の増加	92,533千円	82,792千円	54,695千円	70,838千円	96,094千円	86,535千円	90,443千円	96,898千円	97,370千円	111,044千円	106,413千円	133.4%	・担い手向け有機 稲作技術研修 会 ・乗用除草機や 除草ロボットの 導入 による省力化 ・農産物のPR 活動 ・消費者交流、 実需者との意見 交換 ・環境や生物多 様性を認証要件 とする「大崎耕 土」世界農業遺 産認証制度による ブランド化		農産物の産出額（販売金額）については成果目標を達成したが、取組者数については、高齢による離農等が新規取組者数を上回ったこと、また、生産面積及び生産量については、事業実施後に発生した有機不適合資材問題や土地区画整備により、有機農業の継続を断念した農業者の影響が大きかったことから、成果目標の達成には至らなかった。 他方、高齢化による担い手不足に歯止めがかからない中、今後も成果目標まで生産面積を拡大して生産量を増やすことは困難である等、社会情勢が変化していることから、今年度で評価を終了することとするが、今後も有機農業の推進に係る取組を継続していくよう指導する。
					有機農産物（米）の 販売金額の増加															
					有機農業取組者数の 拡大	28人	29人	13人	28人	23人	23人	22人	19人	19人	18人	40人	-83.3%			
					有機農産物（米）の 生産面積の拡大	66.1ha	69.6ha	13.1ha	77.9ha	58.3ha	59.4ha	62.5ha	67.3ha	71.7ha	67.6ha	76.5ha	14.4%			
					有機農産物（米）の 生産量の拡大	277.8 t	292.4 t	55.1 t	327.3 t	245.0 t	249.4 t	262.4 t	282.7 t	301.2 t	283.7 t	319.4 t	14.2%			